

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針	
水辺整備と湖辺面の利活用	砂浜の整備	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C		
	治水・利水浚渫	諏訪建設事務所		・上川や砥川など流入河川にて土砂の堆積状況に応じて実施	C		
	水面の利活用	・下諏訪ローイングパークの活用	下諏訪町	長野県ボート協会 下諏訪町漕艇協会	・4/24 諏訪湖ロングレース(約119名参加) ・5/21～22 信毎諏訪湖レガッタ(約350名参加) ・7～8月 漕艇場周辺の水草除去及び漂流物除去(ボート部高校生、ボート関係者含め約130名で手狩り実施) ・10/10 親と子のボート教室(下諏訪町漕艇協会主催事業への協力)(約15名参加) ・9/4 下諏訪レガッタ(約500名参加)	A	・新型コロナウイルス感染対策をしたうえでイベントの開催をすることができた。今後コロナが5類になるため、例年通り開催できるように努めつつ、より多くの方に諏訪湖に親しんでいただける機会を作る。
		・「河川空間のオープン化」に向けた取組支援	諏訪建設事務所 諏訪地域振興局		・下諏訪町ランドデザイン策定委員会への参加 ・湖周市町村の連絡会議を開催	C	・今後の取組における事務手続き等の整理を進め、関係機関と連携して体制の枠組みづくりを進める。
	水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくり	・河川空間のオープン化、水辺カフェの調査、研究	あってもいいな夢工場 湖の驛プロジェクト		・元気づくり支援金事業(諏訪湖ストーリー作成) ・一般市民対象のワークショップ開催(6/22(火)から毎月1回開催) ※新型コロナ対策優先にて実施		
		・諏訪湖ミズベリング開発に関連する研究会・講演会・先進地事例等の紹介 ・延期になっているミズベリング会議の開催 ・元気づくり支援金を使わせて頂く事業への取り組み ・全国一斉の水辺で乾杯(2022)を実施 ・水辺の社会実験 ・水辺での新しいアクティビティを考える	一般社団法人諏訪湖ミズベリング振興協会		・河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標に、賑わいのあるまちづくりのためのミズベリング会議の開催 ・水辺イベント、全国一斉の水辺で乾杯(2022)を実施 ・民間活力の積極的な参画で、水辺とまちを考える。 ・地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考える。 ・水辺で楽しむ人、水辺でまちを変えたい人、水辺でビジネスを作る人、やりたい人を増やす。 ・全国のミズベリングネットワークとの情報交換。	E A A A A A	諏訪市かわまちづくり協議会の進捗による コロナの感染対策をしながら御柱の集まりと水辺のドッキングができた。 色々な業種の社会実験を行う 全国会議会への参加でモチベーションを上げる
		・「健康スポーツゾーン」の活用による健康増進事業(諏訪湖活用推進事業)の開催	下諏訪町		・湖畔に設置した健康器具などを使った運動講座の開催(4月～11月) ・信州 ACE プロジェクトに登録されているウォーキングコースでのウォーキング教室、フットライトを活	B	・町では諏訪湖畔を「健康スポーツゾーン」と位置付けており、湖畔の環境・施設を活かした健康運動教室等を継続的に開催し、地域住民の健康増進に繋げていく。

③令和4年度（2022年度）諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員活動実績 **湖辺面活用・まちづくり**

資料 2-3

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針	
				用したラン&ウォーク教室の開催			
	・湖岸周辺設備等の管理、整備	下諏訪町		・諏訪湖岸の街路灯更新及びジョギングロードに足下灯設置、芝等の管理 ・赤砂崎公園においてキッチンカーの出店	B	・諏訪湖岸の芝刈りは協定回数以上実施しており、良好な環境を維持しているため、今後も適切な維持管理に努めたい。 ・キッチンカーの出店による公園サービスの向上を図っていきたい。	
	・人工渚の活用	あってもいいな夢工場湖の驛プロジェクト		人工渚水辺づくり作業 毎週日曜日午前 10:30 から 1 時間 30 分 魚つかみイベント(本年コロナ対策にて中止)	E	今年度サイクリングロード、遊歩道整備の為、立入禁止にて実施不可能	
「諏訪湖周サイクリングロード」整備推進	サイクリングロードの整備	諏訪建設事務所		・A 区間(岡谷市)における工事の推進 ・B 区間(諏訪市)における工事の推進	C		
		岡谷市		・諏訪湖周自転車活用推進計画に基づき、横河川から塚間川間のサイクリングロードを整備した。			
		諏訪市		・諏訪湖周自転車活用推進計画に基づき、間欠泉センターから児童遊園まで整備工事を実施した。	B	令和5年度末の湖周全線開通を目指し、残る児童遊園から下諏訪境まで整備工事を実施する。	
		下諏訪町		・令和3年度よりサイクリングロード整備工事に着手し、現在岡谷市境からホルツはつしまの区間が整備済。	B	令和5年度に整備完了予定。	
		○諏訪湖周自転車活用推進協議会の定期開催	諏訪湖周自転車活用推進協議会		・5/24 に第1回検討会議を開催(その後も随時開催) ・サイクリングロード等の利用ルールを協議し、決定する。	C	
	サイクリングロードの整備	・サイクルスタンドの設置	諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会		・自転車利用促進のための環境づくりとしてサイクルスタンドを設置(ビーナスライン周辺民間事業者)。	D	・自転車利用促進のための環境づくりとしてサイクルスタンドを設置(手長神社、民間事業者、スワレイクサイトオアシス)。
		・サイクリングガイドの養成			・2022年5月16日～18日(grav bicycle)	B	・5月24日～26日、11月8～10日、11月15-16日(grav bicycle)
	ガイドサイクリング民間団体等との連携	・サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングガイドの養成(再掲)	諏訪地域振興局		・構築したサイクリングルートを活用したサイクリングラリー等誘客促進イベントの開催 サイクルフォトラリーの実施 時期:令和4年9月～11月 内容:インスタグラムを活用してルート上でサイクリングをしている写真を投稿してもらい、ルールに従い投稿してくれた者に抽選で景品を贈呈する。	C	引き続き、サイクリングをはじめ各種アクティビティを切り口としたプロモーションを行い、域内の滞在時間の延長・長期化並びに、コース周遊に伴う観光消費の拡大を目指す。
			諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会		・2022年11月29日～30日「塩の道サイクルツーリズム推進事業」フォーラム&走行会	A	塩の道イベント ①夏至ライド(-6/21(水)) ②塩の道ライド(南塩編)-(7/15～17) ③塩の道ライド(北塩編)-(9/16～18) ④ど真ん中ライド(10/7～8)

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針
観光活性化のための整備	カヌー等民間団体との連携	・他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(5月、7月8月、10月) ・諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。	諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街、学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※カヤック・カヌーで利用しやすく、漕ぎやすいフィールドの創生を具体的に河川管理者と話し合いをお願いしたい。		
	諏訪湖に関する情報発信	・長野県ホームページ、長野県魅力発信ブログなどによる情報発信 ・公式インスタグラム及び公式 Facebook により、諏訪湖の“インスタ映え”する美しい風景や情報を国内外に発信	諏訪地域振興局	諏訪湖浅瀬での手作業によるヒシ刈取作業、メガネサナエのモニタリング調査、諏訪湖まるまるゴミ調査について、取組の様子を長野県魅力発信ブログで広く広報した。	B	より多くの関係者や地元住民に関心を持ってもらえるよう、引き続き取組の様子を発信していく。
	インフラツーリズム	・舟通しの活用の調査・研究	あってもいいな夢工場湖の驛プロジェクト	・歴史ある天竜川と諏訪湖の要所を学習、観光資源として役立てるための調査研究に着手。非日常の体験(9月～) ・夏休みを利用し小学生対象とした体験乗船会を行う。		
	芸術・文化施設との連携	・「諏訪湖まちじゅう芸術祭」等イベントの支援、協力 ○(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」作成 (2)「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座 (諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催(当面は、オンライン講座として開催予定))	諏訪商工会議所 (一社)大昔調査会 曾根遺跡研究会		(1)「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財(遺跡・史跡)及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド(第3集)を作成(8,000部) 「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」作成・完成→6市町村などに配布(2月末)⇒毎号とも好評にて、市民の学習や観光客の見学等に活用されている。 (2)諏訪市博物館と共催する「すわ大昔フォーラム」等について、対面及びオンライン方式にて計画したが、新型コロナ感染症蔓延により中止・延期が相次いだ。しかし関係機関や発表者との連携により、地域の歴史文化を題材として、第29回～第32回までの4回が実施できた。 ⑳:映画「ものがたりをめぐる物語」上映会 ㉑:講演会「和風モダニズムの建築美・諏訪市文化センター」 ㉒:シンポジウム「考古地域学を学ぶ 戸沢充則の世界」 ㉓:講演会「仮説・五本目の御柱」	